

4年ごとに開催されるサッカーのワールドカップ(ロシア大会)が迫っているこの時期に、日本代表監督が更迭され大きな話題となっている。日本代表選手のメンバーがどうなるのか、今回はどのような成績になるのかファンとして注目したい。

さて今回は大腸腫瘍の治療後のサーベイランスについて企画した。大腸腫瘍でサーベイランス間隔が示されているのは、「大腸癌治療ガイドライン」による大腸癌と、Japan Polyp Study (JPS)の結果による腺腫の内視鏡摘除後は3年後といった指標のみである。そのほかの組織の指針については、混沌としているのが現状である。SSA/P, LST, NET G1(カルチノイド腫瘍)などについては、各施設や担当医の判断でサーベイランスされているのが現状であろう。また、最近盛んに行われている cold polypectomy 後の遺残や再発の問題も十分検討されていないので、サーベイランスの観点から取り上げさせていただいた。日々の内視鏡検査で驚かされる interval cancer の存在も内視鏡医にとっては大きな問題であり、サーベイランスにかかわる諸問題は日常診療に直結する興味深いテーマである。今回は、リンチ症候群や家族性大腸腺腫症、潰瘍性大腸炎関連癌など比較的まれな疾患のサーベイランスも取り上げた。さらに、非腫瘍性ポリープや内視鏡検査で正常であった場合の取り扱いをどのようにしたらよいかなどは、知りたいところではあるが、これまでデータもなく感覚的に検査間隔を提示している状態である。本誌はこれらの疑問の参考となるよう、経験豊富な施設と先生方に執筆をお願いした。今回の特集が日常診療のお役に立つことを祈念している。

(五十嵐正広)

臨牀 消化器内科® Vol. 33 No. 8

©2018 年 6 月 20 日発行

定価(本体 2,750 円 + 税)

年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、書店または弊社までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

e-mail info@nmckk.co.jp

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail gastro@nmckk.co.jp

郵便振替 00110-2-80695

印刷所 三報社印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2018. Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 日本医学広告社

〒102-0071 東京都千代田区富士見 2-12-8 電話 03-5226-2791